

化財調査官 鷲塚泰光、同記念物課文化財調査官、牛川喜幸、同文化普及課企画調査係長 上杉道世、同文部事務官 黒田英雄

④ 文化振興会議

ア 目的

「文化を考える県民会議」(昭和52年5月設置、53年1月解散)から知事及び教育長に対して提言された本県の文化振興策について学識経験者等の意見を参考にしながら、行政施策として具体化する場合の基本的方策を検討した。

イ 期日

- (ア) 第1回 7月26日 文化施設、文化振興基金についての説明
- (イ) 第2回 9月22日 文化振興基金の内容について論議
- (ウ) 第3回 11月28日 文化施設について論議
- (エ) 第4回 昭和54年1月24日 最終報告書の審議

ウ 構成委員

池田善治(県議会議長)、石田卯子八(鮫川村長)、梅宮茂(県考古学会長)、河田亨(福島民報社取締役編集局長)、佐藤栄佐久(郡山三東スーツ株式会社専務取締役)、佐藤信(尚志学園長)、佐藤光(元国立福島工業高等専門学校長)、関口富左(郡山開成学園理事長)、高瀬喜左エ門(会津若松市長)、高橋哲夫(福島女子高等学校長)、辺見和郎(福島民友新聞社編集局長)若松光一郎(洋画家)、渡辺到源(県文化団体連合会長)、岡田宗治(県副知事)、辺見栄之助(県教育長)、友田昇(県総務部長)、高城勤治(県企画調整部長)

(2) 指導者の育成

① 芸術セミナー

地域文化活動を推進指導する実作家、実活動家を対象として、実技・実作を中心に地域文化活動を推進するために必要なことについて研修を行い、その資質向上の機会を提供する目的で実施しているもので、芸術7部門について県内7地区で開催した。

ア 期日、会場、参加者等

部門	期日	場所	参加者数	内 訳
文学	5/18～5/20	原町市文化センター	59	小説8、詩6 短歌36、俳句9
舞踊	6/29～7/1	船引町営体育館	62	
美術	7/24～7/26	喜多方市中央公民館	45	日本画20 油 絵25
彫塑	7/27～7/29	福島女子高校	29	
演劇	8/26～8/27	白河市文化センター	65	
工芸	9/20～9/22	いわき市文化センター	29	鎌倉彫17 紙工芸12
合唱	11/9～11/11	田島町中央公民館	65	※総計 354名

イ 内容

- (ア) 講義及び実技・実作指導
- (イ) モデル演奏・演技を基にして研修

(ウ) 地域の文化活動に関する研究協議

ウ 講師

(ア) 文学

小説 藪部一郎(「北斗」同人)
詩 相田謙三(日本現代詩人会会員)
短歌 松田 亨(県歌人会顧問)
俳句 鈴木正治(現代俳句作家協会会員)
講話 藪部一郎

(イ) 舞踊

長沢トシエ(福島県民踊指導者連絡協議会)
鈴木 武子(同上)
篠田 年子(若松商業高校講師)

(ウ) 美術

日本画 小泉 智英(無所属)
油 絵 西村 栄悟(二紀会会員)

(エ) 彫 塑

神野 義衛(文化庁派遣指導者日展会員)

(オ) 演 劇

五十嵐康治(劇団青年座演出家)
助手 渡辺 寛二(劇団青年座俳優)
吉田はるみ(同上)

(カ) 工 芸

紙工芸 鈴木三恵子(県展審査員)
鎌倉彫 上石 浩女(鎌倉彫教授会理事)

(キ) 合 唱

池田 明良(洗足学園大講師)

エ モデル上演団体

(ア) 舞 踊 船引町民謡民舞の会連絡協議会

(イ) 演 劇 演劇サークル「葦の会」

演目 しらかわの流れの中から「檀山節考」

(ウ) 合 唱 ひまわりコーラス(田島町)

② 文化団体助成

ア 県芸術文化団体連合会 300,000円

イ 県美術家連盟 300,000円

2 芸術文化活動の充実

(1) 芸術鑑賞機会の拡充

① 家庭劇場

本格的な文化施設を有しない地域の県民のために、優れた舞台芸術を巡回公演して、家族ぐるみで芸術を鑑賞することを奨励し、豊かな家庭づくりをすすめるとともに、地域文化の振興に資する目的で、県内20か所で開催した。

ア 主 催

県教育委員会

(財)福島県文化センター

開催地教育委員会

(財)日本青少年文化センター